

事務事業チェックシート

事務事業No **765** 事業名 **景観計画促進事業**

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	6	都市景観の形成
施策	2	都市景観の形成
基本方針	1	全市における景観の誘導

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		都市計画費	
	目		都市計画総務費	
	大事業		都市計画総務事業	
事項		景観計画促進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H24 ~		
事業実施の根拠法令	景観法、和歌山市景観条例		
関連個別計画	和歌山市景観計画		
担当課・担当課長 (Tel)	都市再生課		
関連課	都市整備課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 地域の景観資源の発掘や景観重点地区等の指定に伴う活動支援等の実施など、景観計画に基づく良好な景観の形成に係る施策を展開し、自然景観や歴史的景観の保全・活用等、和歌山市らしい良好な景観の創出を図るとともに、地域の誇り、愛着の醸成及び景観という観点からのまちづくりを促すことを目的とする。	事業内容 ・景観重点地区等指定に関する事務。 ・景観法に基づく届出等に関する事務（景観誘導）。 ・和歌山市景観審議会の運営。 ・和歌山市景観条例及び和歌山市景観計画の周知に関する事務（周知啓発） ・近畿地方都市美協議会に関する事務。				
	実施内容	平成25年度 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成に向けた景観資源の調査 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席 ・風致地区区域見直し	平成26年度 ・景観重点地区等指定に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成に向けた景観資源の調査 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席	平成27年度 ・景観重点地区等指定に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席	平成28年度 ・景観重点地区等指定に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席	平成29年度 ・景観重点地区等指定に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	4,036	2,737	5,481	2,732	5,831		5,831		5,831	
伸び率 (%)	-	-	35.8%		6.4%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	8,837	8,252	8,252	7,555	7,555		7,555		7,555
	非常勤職員									
	小計	8,837	8,252	8,252	7,555	7,555		7,555		7,555
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	4,036	2,737	5,481	2,732	5,831		5,831		5,831	
所要人数	常勤職員	1.19	1.09	1.09	1.02	1.02		1.02		1.02
	非常勤職員									
主な予算内訳	委託料5,066千円、附属機関委員報酬308千円 等									

3 目標及び実績

指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	全体目標達成度					
活動指標	市民の景観に対する意識の醸成を図るため、景観ホームページ等を活用し、普及啓発を行うとともに、地域団体等の意識向上の支援を行う。	年度目標値							
		実績値							
	単位	年度別達成度							
		実績値							
成果指標	「まちなみの美しさ」に対する市民満足度	年度目標値			16.8	17.6	18.4	19.2	20
		実績値			17.3	17.3			
	単位	年度別達成度			103.0%	98.3%			
		実績値							
単位	全体目標値	20	全体目標達成度	86.5%					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成23年度に「景観条例」の制定及び「和歌山市景観計画」の策定、届出制度の運用も開始し、約2年経過したところであり、景観に関する意識が徐々に浸透してきていると感じているところである。また、景観重点地区等の指定についても「和歌山城周辺景観重点地区」につづいて、平成24年度末に「和歌の浦景観重点地区」を指定し運用をしているところであるが、住民主導による新たな景観重点地区等の指定に関する要望もきており、今後、住民主導型の地区指定及び景観形成に資するまちづくりへの期待も膨らんできているところである。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>景観資源発掘後の地域への働きかけや景観形成からまちづくり等へ誘導する仕組みづくりの検討をおこなう。</p>